

# 村上和雄ドキュメント「SWITCH」遺伝子が目覚める瞬間

人間の無限の可能性を追い続ける科学者、村上和雄博士の研究と、  
遺伝子のスイッチがオンになった人々の生き様を追った感動のドキュメンタリー。

## ◆ ストーリー

### 「人間の可能性は無限である」

人間の遺伝子には、1000文字×1000ページの百科事典約3200冊分の情報が入っていると  
言われています。しかし、私たちは生涯、その数パーセントしか使っていないことが様々な  
研究の結果により明らかになりました。バイオテクノロジーの世界的権威・村上和雄博士は  
言います。「眠っている遺伝子のスイッチをオンにすれば、人間の可能性は無限大だ」と。  
では、私たちの遺伝子は、いかにしてオンになるのか。村上博士の研究の軌跡と、苦難の中で  
花開いた人間の可能性を追ったドキュメンタリーです。



筑波大学名誉教授 村上和雄氏

### 「生かされていることを知るとき、私たちの遺伝子はオンになる」

2005年に起きたJR福知山線の列車事故は、多くの犠牲者を出し、事故から5年以上  
が経った今も、当事者のみならず、たくさん人の心に傷を残しています。そんな中で、  
人々に勇気を与えている女性がいます。最も被害のひどかったと言われる2両目に乗っ  
ていた鈴木順子さんです。順子さんはこの事故で、脳に重度の障害を受けました。しか  
し、彼女は、母・もも子さんをはじめとする家族の愛の中で、驚くべき回復を遂げます。  
愛と笑いが遺伝子をオンにした奇跡の物語です。



鈴木もも子さん + 順子さん 親子

### 「スイッチをオンにして、自分のミッションを生きる」

子どもの重度のアトピーとの長い闘いに疲れ切り、さらに夫の会社が倒産。そして自身は  
流産してしまう…。そんな人生のどん底とも思える状況の中で、自分のミッションを知った  
1人の女性がいます。映画『1/4の奇跡』の監督、入江富美子さんです。ごく普通の主婦  
だった彼女に、一体何が起こったのでしょうか。「宇宙に感謝の量を増やす映画をつくる」  
というミッションを果たすべく、東奔西走する彼女のエネルギーの秘密に迫ります。



映画監督 入江富美子氏

## ◆ 企画・構成・監督：鈴木七沖（すずき・なおき）氏

1964年、名古屋市生まれ。大学と専門学校を卒業後、ファッションデザイナーの下で「パ  
タンナー」として活動。その後、様々な就業体験を経て、1997年に未経験のまま出版社に入  
社。書籍編集者として、これまでに140冊以上の作品を担当し、総実売部数が340万部を  
超える。2011年、初の映像監督作品として村上和雄ドキュメント「SWITCH」を発表。現在、  
国内外400か所以上、観客動員数は6万人を超えた。2013年10月、「SWITCH」英語版が  
「第4回ニューヨークシティー・インディペンデント国際映画祭」で正式上映されて話題となる。  
2012年に『「食べること」で見えてくるもの』、14年には『中村文昭ドキュメント「何のために」』  
を発表。同年7月26日に全国47都道府県67か所で一斉お披露目上映会が開かれ、約1  
万人が動員。セルフプロデュースユニット「七つ風」を2015年から本格的に始動させる。



鈴木七沖氏

### 村上和雄 鈴木もも子 鈴木順子 入江富美子

音楽：佃 良次郎 / 語り：堤 江実 / 撮影・編集：谷 忠彦 / 企画・構成・監督：鈴木七沖

編集・制作：岡田寛子 / 制作：新井一哉、荒木 幸、サンマーク出版TB編集部 / 配給：株式会社サンマーク出版

制作総指揮：植木宣隆

SWITCH 公式サイト

<http://www.sunmark.co.jp/switch/>